

環境変化によるリスクシナリオ

シナリオ	要因・事象	リスク/機会	当社への影響	当社の戦略
1.5℃未満	電炉素材への評価向上	機会  大	■高炉鋼材からの置換等による需要増	●製品の基本機能・品質向上 ●脱炭素化を進め、更なる差別化を促進
	低炭素素材のニーズの高まり	リスク  小	■脱炭素操業体制への移行が進まず、操業難	●省エネ推進、脱炭素技術の開発・導入推進
	調達品の低炭素化進展	リスク  小	■エネルギー以外の調達資材等の単価高騰は限定的	●調達ソースの拡大、代替品の適用
	カーボンプライシングの導入	リスク  小	■合金、資材等の調達コストの増加	●省エネ推進、脱炭素技術の開発・導入推進
	スクラップの需要拡大	リスク  大	■電炉ニーズの高まりによるスクラップの争奪 ■スクラップ価格の上昇によるコスト増	●鉄スクラップ価格の変動に応じた販売価格への反映体制の構築 ●鉄スクラップの安定調達化に向けたスキームの構築 ●低品位スクラップの利用拡大、操業技術の確立
	再生可能エネルギーの普及拡大	リスク  大	■再生エネルギー賦課金の増加による電気コストの増加	●省電力施策の推進 ●太陽光発電設備の設置推進
	環境意識の更なる高まり	リスク  小	■電炉ニーズの高まりによる競争の激化 ■脱炭素への適応遅れによる販売機会の損失	●環境配慮型製品の開発推進 ●グリーン資材に調達推進 ●サプライチェーンへの脱炭素化対応
4℃上昇	異常気象（自然災害）の増加	リスク  小	■生産拠点、設備の被災による生産停止	●BCP対策の推進
		リスク  小	■原料、資材の調達停止	●適正在庫の確保 ●更なる調達先多様化（サプライチェーン）
		機会  小	■土木・建築鋼材用途の需要増	●高機能鋼材の開発推進
	作業環境悪化（気温上昇）	労働環境の悪化	リスク  小	■作業環境改善への投資増